

# 世界の映画少年たちを恐怖のどん底に叩き落としたトラウマ映画『吸血鬼ゴケミドロ』のサウンドトラックが、ついに初商品化！！ 残忍！狂暴な吸血鬼…次はお前だ！

映画ファンならずとも「男はつらいよ」シリーズでおなじみの松竹が、1968年に公開してしまった松竹史上最大の異色作『吸血鬼ゴケミドロ』の完全盤サウンドトラックが、半世紀の時を経てついに初CD化！

かのクエンティン・タランティーノも本作の熱烈なファンであることを公言し、あの「キル・ビル」(03)でオマージュを捧げたことは非常に有名。今回もオリジナル6mmマスターテープからのマスタリングを決行。今までほとんど聴くことができなかったゴケミドロの音源を、あの不吉さ極まるオープニングから予告編の楽曲まで現存するものは余すところ無くすべて収録したまさに決定盤！

聴けば二度と飛行機には乗れなくなる、あまりにも恐ろしすぎる楽曲の数々！



## 菊池俊輔

1931年生まれ。「トラック野郎」シリーズの木下忠司に師事し、1971年には『仮面ライダー』の主題歌「レッツゴー!! ライダーキック」、1973年には『女囚さそりシリーズ』の主題歌「怨み節」がヒット。同曲は後年、『キル・ビル』でも使用された。

純粋な映画作品のみならず、特撮やアニメ作品も多く手掛け、担当した番組は放送期間が長かったり、シリーズ化されることが多かった。そのため、「菊池俊輔が音楽を担当すれば、番組もヒットする」と言われることもあったという。

明解なブルース・ペンタトニックを基本とする16ビートの音楽が特徴で、ファンには「菊池節」として親しまれている。『ゲッターロボ』、『アイアンキング』の主題歌など、畳み掛けるようなバスと勇ましいドラムスが印象的。『仮面ライダー』や『暴れん坊将軍』、『ドラゴンボール』などアップテンポの作品も多いが、『ドラえもん』のテーマ音楽や劇中BGMなど、スローテンポの楽曲も手掛けた。現在では、菊池の楽曲はコアなファンならずとも一度は聴いたことのある定番楽曲となっている。

本作はそんな菊池作品の中にあって、全編におどろおどろしい雰囲気漂う、まさに異色作である。

1	アーティスト:	菊池俊輔		
	タイトル:	吸血鬼ゴケミドロ サウンドトラック		
	発売日	2016/5/11		
	FORMAT	CD	BARCODE	4988044023307
	規格No.	CINK8	LABEL	CINEMA-KAN Label
	税抜販売価格	2,861円	税込販売価格	3,090円
	オーダー締切日	貴店名		
	2016/3/31		枚	



**DISK UNION MUSIC DISTRIBUTION**  
ディスクユニオン ミュージック ディストリビューション

TEL: 03-3511-9944 担当: 嶋田

FAX: 03-3511-9938

E-MAIL: distribution@diskunion.co.jp